

# 「～ながラー」の足跡 ～〇〇しながラー、こんなことやってみました～



1年目から3年目まで、例えばこんなことに挑戦して、こんな学びや楽しみがありました。

## 舟活動ミーティング

### 「ホモ・サピエンスの鳴き声丸」



作品を鑑賞して得た言語化しにくい感覚を「なきごえ」(作品を見た感覚を表す擬音や擬声語を示す造語)で表現する舟です。様々な問いにみんな向き合いながら、議論を重ねて企画書を練り上げていきました。

#### 「～ながラー」の声

「基礎ゼミで学んだ事をミーティングの中で実践し、成長しながら進む事ができました。核となる部分を明確にし、変化を楽しみフォローし合いながら、実現に向けて諦めずに皆で舟を漕ぎ続ける事の大切さを実感しました。(5期「～ながラー」みえさん)



## 企画実施

### 「『流し』の鑑賞フレンド丸」



展示室内にて一定時間待機し、来館者が作品を観たとき湧き出る感想や「誰かに話してみたい」という思いに寄り添い、お話を聴く活動を企画しました。

#### 「～ながラー」の声

「作品の感想やお話をお聞きし、私自身もより楽しく多様性に富んだ深い鑑賞体験ができたこと、何より嬉しかったです。アートを介してコミュニケーションすると皆さん笑顔になる様子が印象に残っています(4期「～ながラー」てるさん)



## 団体鑑賞のファシリテーター



2024年度より、対話による鑑賞や、来館者と接する実践の場として、岐阜県美術館 教育普及係に申し込みが来ている団体鑑賞に希望して参加できるようにしました。経験を増やし、活動の幅を広げるために多くの「～ながラー」が参加しました。

#### 「～ながラー」の声

「ファシリテーターとしてはまだまだ未熟ですが、これからできる限り参加させていただき、子どもたちの純粋さに触れ、少しずつ度胸をつけていきたいです。」(5期「～ながラー」まみむめもさん)



## 3年目マイポート



任期満了を迎える年度に実施する「～ながラー」独自の自主プロジェクトです。修了後、自身のフィールドに戻ることを想定し、企画立案から一人で組み立て実施しました。

#### 「～ながラー」の声

以前とある環境学習施設で体験プログラムの案内人をしていました。そこでの取組みが～ながラー活動と共通すると感じ、ぜひ他の～ながラーさんにもこのプログラムを体験してほしいとの思いで企画しました。参加した方から『やりたい事のヒントが見つかり、ビビビとしました!』と感想をいただき、体験を共有できてよかったと感じています。(4期「～ながラー」あきちさん)

## コラム

### 「～ながラー」運営スタッフにインタビューしてみました!



そうなんです!岐阜県美術館のリニューアルを機に始まったアートコミュニケーション事業だから、もう7年か!感慨深いね～



全国11カ所にもアートコミュニケーターがいて、つながりも増えましたね。



他の地域のアートコミュニケーターさんが岐阜県美術館を訪ねてくれたのはうれしかったな。



「～ながラー」発信の企画やイベントも、年を追うごとに活発になっていますね!

「～ながラー」同士、対話の中から丁寧にミーティングを繰り返していく姿勢はすごい熱量なんです!

身近な社会課題に目を向けて、自分ごととして考えて、来館者や地域に目を向けた活動が増えてきたよね。

そうやね。

では、7期「～ながラー」の応募を考えている人に向けて、メッセージをお願いします!

多様な人々と出会い、楽しみ、一緒に学びながら活動できる仲間をお待ちしています!

スタッフ ツエーさん ベーさん エーさん

「～ながラー」の募集も7回目になりましたね!

